

# 授 業 計 画

No.1

授業科目	業界研究実践		担当教員	植田 勉	クラス	ビジュアルデザイン科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	なし

授業概要	1年次の就職講座の内容をベースに、実践に活かす対策を適宜行う。特にコミュニケーション能力は、就職活動や社会に出た後も必須となるため、プレゼンテーション、グループ活動を授業の核として豊かな人格形成を育むことを目的とする。 また、卒業制作企画について早期に考え、後期への制作モチベーションを高めて行く。						
評価方法	成績評価	学校・担任の評価をポイントを換算し、前期他科目の成績に加点。					
	評価割合	試験	0 %	課題	0 %	他	100 %
教科書	なし	副教材および参考文献		オリジナルPPT 適宜プリント、データの配布			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション	全体概要説明。就職活動所作おさらい
第2回	コミュニケーションスキル-1	クラス内コミュニケーション、振り返り
第3回	コミュニケーションスキル-2	志望動機プレゼン、振り返り
第4回	応募書類作成-1	履歴書添削(個別ワーク)、企業幹旋-1
第5回	応募書類作成-2	履歴書添削(個別ワーク)、企業幹旋-2
第6回	面接ロールプレイ-1	グループ面接-1(4人×6グループ) ※2チームで実施
第7回	面接ロールプレイ-2	グループ面接-2(4人×6グループ) ※2チームで実施
第8回	面接ロールプレイ-3	グループ面接-3(4人×6グループ) ※2チームで実施
第9回	面接ロールプレイ-4	個人面接-1(no.1～23、no.24～46) ※2チームで実施
第10回	面接ロールプレイ-5	個人面接-2(no.1～23、no.24～46) ※2チームで実施
第11回	面接ロールプレイ-6	個人面接-3(no.1～23、no.24～46) ※2チームで実施
第12回	卒業制作企画-1	全体概要説明。ガイダンス(実行委員、運営について)
第13回	卒業制作企画-2	企画フレームワーク-1(アイデア、案出し)
第14回	卒業制作企画-3	企画フレームワーク-2(アイデア、案出し)
第15回	卒業制作企画-4	企画フレームワーク-3(アイデア、案出し)
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	コミュニケーション技法	担当教員	一島健	クラス	ビジュアルデザイン科1年		
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	「聞く」「話す」「読み取る」「伝える」等、コミュニケーションの基礎を学ぶ。さらに表現における基礎となる「情報」をいかにして「視覚化」して「伝達」するのかを学ぶ。目標として今後の社会人生で職種に左右されていない汎用的なスキルの習得と個々の表現の質向上を目指す。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	40 %	課題	30 %	他	30 %
教科書	なし	副教材および参考文献		適宜、資料の配布			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回( / )	オリエンテーション	概要説明
第2回( / )	コミュニケーションとは1	コミュニケーションの手段
第3回( / )	コミュニケーションとは2	コミュニケーション能力の構成要素
第4回( / )	コミュニケーションとは3	コミュニケーションの目的
第5回( / )	コミュニケーションとは4	コミュニケーションの手段
第6回( / )	ビジネスコミュニケーション1	聴く力について ヒアリングの実践と活用
第7回( / )	ビジネスコミュニケーション2	伝える力について プレゼンテーション能力
第8回( / )	ビジネスコミュニケーション3	質問する力について 会話をまとめる
第9回( / )	ビジネスコミュニケーション4	協調性について チーム制作に関して
第10回( / )	視覚によるコミュニケーション1	視覚化について 様々な要素の視覚化
第11回( / )	視覚によるコミュニケーション2	抽象化について 抽象化による事例と実践
第12回( / )	視覚によるコミュニケーション3	色の印象について カラーバリエーションの考え方
第13回( / )	視覚によるコミュニケーション4	音の視覚化について 音へのアプローチ
第14回( / )	視覚によるコミュニケーション5	形の印象について 形状を考える
第15回( / )	まとめ	ここまでのまとめ
第16回( / )	期末テスト	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	メディアプランニング		担当教員	植田 勉	クラス	ビジュアルデザイン科2年	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	講義	単位数	2

授業概要	この科目はターゲットに対し効果的な媒体を運用するために、最適なメディアの選定や表現方法を学ぶ。授業はマーケティングの基本知識と仕組み、市場分析やアイデア発想・コンセプトの重要性を体感する。メディアプランニング実践と連動し、企画から制作、チームコミュニケーションを行い、実践方法を身に付ける。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	70 %	課題	30 %	他	0 %
教科書	なし	副教材および参考文献	オリジナルPPT、映像教材 プリント、サンプルデータを配布				

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション	授業概要説明。マーケティングとプロモーション事例紹介
第2回	プランニング基礎①	AIDMAとAISAS、マーケティングの考え方
第3回	プランニング基礎②	STP分析とUSP(マーケティングコンセプト)
第4回	プランニング基礎③	4P分析(マーケティングミックス)
第5回	プランニング基礎④	コンセプト抽出(ペルソナ設定)
第6回	プランニング基礎⑤	コンセプト抽出ワーク(共感マップ)
第7回	ブランディング基礎①	ブランディングの考え方
第8回	ブランディング基礎②	ビジュアルアイデンティティ
第9回	ブランディング基礎③	コーポレートアイデンティティ
第10回	ブランディング基礎④	インナーブランディング
第11回	プランニング実践①	分析手法(3C、SWOT、クロスSWOT)
第12回	プランニング実践②	ブランドデザイン発想(チームコミュニケーション)
第13回	プランニング実践③	ブランドデザイン収束(チームコミュニケーション)
第14回	プランニング実践④	チームごとに提案書をまとめる(チームコミュニケーション)
第15回	プランニング実践⑤	効果的なプレゼンテーション手法(チームコミュニケーション)
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	メディアプランニング実践 I	担当教員	植田 勉	クラス	ビジュアルデザイン科2年		
期別	前期	履修コマ数	3 コマ/週	授業形態	演習	単位数	3

授業概要	この科目は、就職活動に必要なポートフォリオの代表作品として、メディアプランニング、他科目とも連携し、個々の進路に活かすより専門的な内容に特化した課題を2つ制作する。それぞれ企画、リサーチ、スケジュール、メディアの選定を行い実際の成果物を制作し、プレゼンテーションを行い評価をうける。成果物はポートフォリオへ作品として掲載し、最終的には完パケとして提出する。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	100 %	他	0 %
教科書	個々で必要に応じ、購入する場合もある			副教材および参考文献	オリジナルPPT 適宜プリント、データを配布		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	plan_1:オリエンテーション	授業概要説明。plan_1のガイダンス・要件定義、メディア設定
第2回	plan_1: 広報ツール企画-1	企画、リサーチ、アイデア出し。チェック-1(1~16)
第3回	plan_1: 広報ツール企画-2	企画、リサーチ、アイデア出し。チェック-2(17~31)
第4回	plan_1: 広報ツール企画-3	企画、リサーチ、アイデア出し。チェック-3(32~46)
第5回	plan_1: プリプロダクション-1	制作コンセプト、アイデア、スケジュールを基に素材収集
第6回	plan_1: プリプロダクション-2	制作コンセプト、アイデア、スケジュールを基に素材制作
第7回	plan_1: 広報ツール設計-1	本制作-1(仮構成、トーン&マナー)
第8回	plan_1: 広報ツール設計-2	本制作-2(色彩計画、ラフデザイン)
第9回	plan_1: 広報ツール設計-3	本制作-3(本構成と展開)、進捗チェック-1
第10回	plan_1: 広報ツール設計-4	本制作-4(ブラッシュアップ)、進捗チェック-2
第11回	plan_1: 広報ツール設計-5	本制作-5(ブラッシュアップ、仕上げ)、進捗チェック-3
第12回	plan_1: 広報ツール提案準備-1	成果物発表準備-1(発表資料作成、ストーリー)
第13回	plan_1: 広報ツール提案準備-2	成果物発表準備-2(発表資料作成、リハーサル)
第14回	plan_1: 成果物評価-1	成果物発表-1: 講評・相互評価(1-16)
第15回	plan_1: 成果物評価-2	成果物発表-2: 講評・相互評価(17-32)
第16回	plan_1: 成果物評価-3	成果物発表-3: 講評・相互評価(33-46)、plan_1の振り返り



	講義計画	実施細目
第17回	plan_2:オリエンテーション	授業概要説明。plan_2のガイダンス・要件定義、メディア設定
第18回	plan_2:ブランドデザイン企画-1	企画、リサーチ、アイデア出し。チェック-1(1~16)
第19回	plan_2:ブランドデザイン企画-2	企画、リサーチ、アイデア出し。チェック-2(17~31)
第20回	plan_2:ブランドデザイン企画-3	企画、リサーチ、アイデア出し。チェック-3(32~46)
第21回	plan-2:ブランドデザイン展開-1	制作内容、スケジュールの具現化-1
第22回	plan-2:ブランドデザイン展開-2	制作内容、スケジュールの具現化-2
第23回	plan_2:プリプロダクション-1	スケジュール、制作コンセプト、アイデアをもとに素材収集
第24回	plan_2:プリプロダクション-2	スケジュール、制作コンセプト、アイデアをもとに素材検証
第25回	plan_2:ブランドデザイン設計-1	本制作-1(全体構成、トーン&マナー)
第26回	plan_2:ブランドデザイン設計-2	本制作-2(色彩構成、仮構成)、中間発表に向けて(データ書き出し、提出)
第27回	plan_2:中間発表-1	進捗確認とチェック、内容精査-1(1~16)
第28回	plan_2:中間発表-2	進捗確認とチェック、内容精査-2(17~31)
第29回	plan_2:中間発表-3	進捗確認とチェック、内容精査-3(32~46)
第30回	plan_2:ブランドデザイン設計-3	本制作-3(修正箇所を確認して、素材の作り込み)
第31回	plan_2:ブランドデザイン設計-4	本制作-4(修正、ブラッシュアップ-1)
第32回	plan_2:ブランドデザイン設計-5	本制作-5(修正、ブラッシュアップ-2)
第33回	plan_2:ブランドデザイン設計-6	本制作-6(最終調整、仕上げ)
第34回	plan_2:プリプロダクション	メディア展開について(ベースデザインを基に素材収集)
第35回	plan_2:ブランドデザイン展開-1	本制作-1(全体構成、トーン&マナー)
第36回	plan_2:ブランドデザイン展開-2	本制作-2(色彩構成、仮構成)
第37回	plan_2:ブランドデザイン展開-3	本制作-3(修正、ブラッシュアップ-1)
第38回	plan_2:ブランドデザイン展開-4	本制作-4(修正、ブラッシュアップ-2)
第39回	plan_2:ブランドデザイン展開-5	本制作-5(最終調整、仕上げ)
第40回	plan_2:ブランドデザイン提案準備-1	成果物発表準備-1(発表資料作成、ストーリー)
第41回	plan_2:ブランドデザイン提案準備-2	成果物発表準備-2(発表資料作成、リハーサル)
第42回	plan_2:成果物評価-1	成果物発表-1:講評・相互評価(1-16)
第43回	plan_2:成果物評価-2	成果物発表-2:講評・相互評価(17-31)
第44回	plan_2:成果物評価-3	成果物発表-3:講評・相互評価(32-46)、plan_2の振り返り
第45回	plan_1,2の成果物まとめ-1	完パケ作業-1(plan_1,2をポートフォリオへ収録)
第46回	plan_1,2の成果物まとめ-2	完パケ作業-2(plan_1,2をポートフォリオへ収録)
第47回	plan_1,2の成果物まとめ-3	完パケ作業-3(plan_1,2をポートフォリオへ収録)、書き出し
第48回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	ポートフォリオ制作		担当教員	植田 勉	クラス	ビジュアルデザイン科2年	
期別	前期	履修コマ数	2 コマ/週	授業形態	演習	単位数	2

授業概要	この科目は、就職活動に伴うポートフォリオを完成させるため、個々の進路に必要な課題を選択して作業を行う。1チャプターを8コマに分け、基礎・応用・実践課題の成果を積み上げる。スモールステップ、反復を繰り返し、短期間でのポートフォリオ完成を目標とする。また、動画によるアプローチとしてデモリールを完成させ、紙と映像の両方で業界就職を目指す準備を行う。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	70 %	他	30 %
教科書	なし	副教材および参考文献			適宜プリント、サンプルデータ 個々でテキストを用意する場合もある		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション	授業概要説明。春課題：初号ポートフォリオの振返り
第2回	業界別ポートフォリオ研究	ポートフォリオ第2稿制作ポイント、テクニック。Chapter-3の内容説明
第3回	Chapter-3-1	基礎課題制作 (GD: ホワイトスペースストレーズ、Web: スプリットスクリーンカンプ、3DCG: 乗り物モデル完全再現、映像: 動画編集)、チェック①
第4回	Chapter-3-2	基礎課題 提出
第5回	Chapter-3-3	基礎・応用・実践課題制作 (GD: ホワイトスペースバリエーション、Web: スプリットスクリーンレイアウト実装、3DCG: 乗り物モデル完全再現、映像: 動画編集)、チェック②
第6回	Chapter-3-4	応用課題 提出
第7回	Chapter-3-5	基礎・実践課題制作 (GD: ホワイトスペースオリジナルラフ、Web: スプリットスクリーンレイアウト実装、3DCG: 乗り物モデル完全再現、映像: 動画編集)、チェック③
第8回	Chapter-3-6	基礎・実践課題制作 (GD: ホワイトスペースオリジナル制作、Web: スプリットスクリーンレイアウト実装、3DCG: 乗り物モデル完全再現、映像: 動画編集)、チェック④
第9回	Chapter-3-7	基礎・実践課題制作 ((GD: ホワイトスペースオリジナル仕上げ、Web: スプリットスクリーンレイアウト実装、3DCG: 乗り物モデル完全再現、映像: 動画編集)、チェック⑤
第10回	Chapter-3-8	基礎、実践課題 提出
第11回	Chapter-3: まとめ	書き出し、PFへの掲載、振返り
第12回	動画でのアプローチ方法-1	デモリールの構成テクニック、事例考察
第13回	動画でのアプローチ方法-2	デモリールの表現テクニック、掲載作品の収集とリサイズ
第14回	動画でのアプローチ方法-3	デモリール制作(コンポジション) フィードバック-1
第15回	動画でのアプローチ方法-4	デモリール制作(エフェクト、トランジション) フィードバック-2
第16回	動画でのアプローチ方法-5	デモリール制作(ブラッシュアップ、仕上げ作業) フィードバック-3



	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回	動画でのアプローチ方法-6	完パケ提出(調整と書き出し)、Chapter-4の内容説明
第18回	Chapter-4-1	基礎課題制作(GD:コラージュデザイン模写、Web:スキューモーフィズムレイアウト模写、3DCG:武器モデル選択・完全再現、映像:フォトムービー)、チェック①
第19回	Chapter-4-2	基礎課題 提出
第20回	Chapter-4-3	基礎・応用課題制作(GD:コラージュオリジナルA、Web:スキューモーフィズムレイアウト模写、3DCG:武器モデル選択・完全再現、映像:フォトムービー)、チェック②
第21回	Chapter-4-4	応用課題 提出
第22回	Chapter-4-5	基礎・実践課題制作(GD:コラージュオリジナルA、Web:スキューモーフィズムコーディング、3DCG:武器モデル選択・完全再現、映像:フォトムービー)、チェック③
第23回	Chapter-4-6	基礎・実践課題制作(GD:コラージュオリジナルB、Web:スキューモーフィズムコーディング、3DCG:武器モデル選択・完全再現、映像:フォトムービー)、チェック④
第24回	Chapter-4-7	基礎・実践課題制作(GD:コラージュオリジナルB、Web:スキューモーフィズムコーディング、3DCG:武器モデル選択・完全再現、映像:フォトムービー)、チェック⑤
第25回	Chapter-4-8	基礎、実践課題 提出
第26回	Chapter-4:まとめ	書き出し、PFへの掲載。全課題内容の振り返り
第27回	授業のまとめ-1	ブラッシュアップ(掲載作品の見直し、修正作業) チェック-1
第28回	授業のまとめ-2	ブラッシュアップ(掲載作品の見直し、修正作業) チェック-2
第29回	授業のまとめ-3	ポートフォリオ提出(データ、プリント用ファイルにまとめる)
第30回	期末鑑賞・講評会-1	ポートフォリオ相互鑑賞・講評会
第31回	期末鑑賞・講評会-2	ポートフォリオ相互鑑賞・講評会
第32回	期末試験	基礎試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	産学協同グループワーク		担当教員	一島健	クラス	ビジュアルデザイン科2年	
期別	前期	履修コマ数	3 コマ/週	授業形態	演習	単位数	3

授業概要	この授業ではクライアントからの要望を分析し、使用するツールを実制作し、ヒアリングから企画、制作、納品の工程を経験する。これによりリアリティのある制作、制作物への責任を意識できることを目標とする。エンドユーザーを直に観察し、リアクションを分析して自身の制作能力の改善につなげていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	70 %	他	30 %
教科書	なし	副教材および参考文献		適宜PDF等を配布			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回( / )	オリエンテーション	概要説明
第2回( / )	課題A プリプロダクション1	制作物と方向性を計画する。
第3回( / )	課題A プリプロダクション2	制作物と方向性を決定する。
第4回( / )	課題A プリプロダクション3	絵コンテ・サムネールの作成
第5回( / )	課題A プリプロダクション4	企画の完成 企画発表
第6回( / )	課題A プロダクション1	素材リストの作成と素材作成
第7回( / )	課題A プロダクション2	サンプル作成
第8回( / )	課題A プロダクション3	素材のベースを作成する。
第9回( / )	課題A プロダクション4	素材の部品を作成する。
第10回( / )	課題A プロダクション5	バリエーションの検討を行う。
第11回( / )	課題A プロダクション6	最終形態を想定した仮出力を行う。
第12回( / )	進捗報告1	進捗チェックと計画の修正
第13回( / )	課題A ポストプロダクション1	コンポジット作業
第14回( / )	課題A ポストプロダクション2	効果音・BGMの検討
第15回( / )	課題A ポストプロダクション3	編集作業 粗編集
第16回( / )	課題A ポストプロダクション4	追加素材の作成



	講 義 計 画	実 施 細 目
第17回( / )	課題A ポストプロダクション5	コンポジット作業 画像・映像
第18回( / )	前期	コンポジット作業 レイアウトチェック
第19回( / )	課題A ポストプロダクション7	書き出しと調整
第20回( / )	課題A 成果報告2	最終チェックと納品
第21回( / )	課題B オリエンテーション	課題Bの概要説明
第22回( / )	課題B プリプロダクション1	制作物と方向性を計画する。
第23回( / )	課題B プリプロダクション2	制作物と方向性を決定する。
第24回( / )	課題B プリプロダクション3	絵コンテ・サムネールの作成
第25回( / )	課題B プリプロダクション4	企画の完成 企画発表
第26回( / )	課題B プロダクション1	素材リストの作成と素材作成
第27回( / )	課題B プロダクション2	モデリング・アニメーションのサンプル作成
第28回( / )	課題B プロダクション3	素材のベースを作成する。
第29回( / )	課題B プロダクション4	素材の部品を作成する。
第30回( / )	課題B プロダクション5	バリエーションの検討を行う。
第31回( / )	課題B プロダクション6	最終形態を想定した仮出力を行う。
第32回( / )	課題B 進捗報告1	進捗チェックと計画の修正
第33回( / )	課題B ポストプロダクション1	コンポジット作業
第34回( / )	課題B ポストプロダクション2	効果音・BGMの検討
第35回( / )	課題B ポストプロダクション3	編集作業 粗編集
第36回( / )	課題B ポストプロダクション4	追加素材の作成
第37回( / )	課題B ポストプロダクション5	コンポジット作業 画像・映像
第38回( / )	課題B ポストプロダクション6	コンポジット作業 音声
第39回( / )	課題B ポストプロダクション7	書き出しと調整
第40回( / )	課題B 成果報告2	最終チェックと納品
第41回( / )	発表準備1	資料作成
第42回( / )	発表準備2	リハーサル
第43回( / )	発表準備3	書き出しと調整
第44回( / )	発表準備4	掲載作業
第45回( / )	発表準備5	リハーサル・最終調整
第46回( / )	まとめ作業	書き出しと調整
第47回( / )	まとめ	掲載作業
第48回( / )	期末課題発表	クライアントへのプレゼンテーションと相互評価



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	Webデザイン応用	担当教員	日比野越百	クラス	ビジュアルデザイン科2年(選択)		
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	1年次のWebの知識を活かして、モバイルやアニメーションといった様々な表現技法を学びつつ、紙媒体では無いポートフォリオサイトを主に制作する科目。オンラインならではの更新出来る利点を活かして、常に最新の状態を保つ事が出来る様にする。また、Webプログラミングの科目と連動をし、デザインからコーディングまでを行い完成させていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	90 %	他	10 %
教科書	なし	副教材および参考文献		オリジナルPPT			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	CSSアニメーション	CSSで行えるアニメーションの付け方を知る。
第2回	metaとviewport	モバイルに欠かせない幅の知識を開発者ツールを通して深める。
第3回	モバイル時代の単位	割合幅で構築していく為の様々な単位、最大、最小を確認する。
第4回	割合の中の文字サイズ	文字サイズのリセットと展開時の注意を知り、活かせる様になる。
第5回	モバイルファースト	メディアクエリ使用時の切り替え時の組む順番と注意点の確認。
第6回	◆課題:ポートフォリオサイト	骨格として使用する文章、収集した画像を配置。
第7回	二次元レイアウト	縦横の並びを活かした近年のレイアウトを知る。
第8回	一次元レイアウト	横並びを活かした様々な操作を学ぶ。
第9回	メディアクエリ	次元レイアウトを効果的に使うためのクエリを使いこなす。
第10回	- モバイルファースト	モバイルの幅を意識したレイアウトを組む。
第11回	- モバイル装飾	デバイスツールバーで表示を切り替えて調整する。
第12回	- 二次元レイアウト	二次元レイアウトでPC/SPの切り替えページを作成する。
第13回	- 全体調整	全体のバランスを考慮したレイアウトにしていく。
第14回	アイソメトリック	等角投影図法を活かしたデザインを制作する利点を知る。
第15回	モーフィズム	フラットデザインから各種モーフィズムまでの近年の動向を学ぶ。
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	Webプログラミング		担当教員	日比野越百	クラス	ビジュアルデザイン科2年(選択)	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	Webコーディング基礎で学んだ知識とWebデザイン応用の授業を活かして、JavaScriptと連携を図った動的なサイトを作成出来る様にする授業。JavaScript言語の基礎となる変数や制御文から始め、文章の書き換えや装飾の変更が出来るプログラミングまでをカバーしていく。						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	90 %	他	10 %
教科書	なし	副教材および参考文献		オリジナルPPT			

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	情報の入力と送信1	サイト内で情報を入力、送信する為のタグを知る。
第2回	情報の入力と送信2	inputタグの種類を知り、基本的なインターフェースを知る。
第3回	JavaScriptとは	JavaScriptを知り、HTMLへの組み込み方を覚える。
第4回	変数宣言とアラート	変数の概念とアラートを使った出力、デバッグを知る。
第5回	演算子と型	感覚の掴み辛い変数を練習がてら、演算子を確認する。
第6回	制御文(繰り返し)	繰り返し処理を行う制御文(for, while)を覚える。
第7回	- 繰り返しの練習	繰り返しを何度も書いて理解を深める。
第8回	制御文(分岐)	分岐処理を行う制御文(if, switch)を覚える。
第9回	- 分岐の練習	分岐を何度も書いて理解を深める。
第10回	イベントドリブンとハンドラ	きっかけを元にした処理を出来る様になる。
第11回	DOM	HTML、CSSの書き換えを行える様になる。
第12回	◆課題: 航空券検索サイト	フォームを利用しながらJavaScriptを使う方法を確認する。
第13回	- マークアップ	テキスト、画像を用意し基本的なマークアップを行う。
第14回	- フォーム部品	フォームを用意し、適した部品を組み込む。
第15回	- 装飾	CSSによるレイアウト、装飾をしていく。
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	デッサン応用Ⅱ		担当教員	山本喜昭	クラス	ビジュアルデザイン科2年(選択)	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<p>この授業では就活に必須となる作品制作に従事します。ポートフォリオに収納できる水準を常に意識しながら一点の作品に集中し完成度を高めていきます。随時修正・補筆作業の繰り返しが予想されますが根気強く取り組んで下さい。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	20 %	課題	70 %	他	10 %
教科書	なし		副教材および参考文献		授業毎、事前に伝達する		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	卓上静物①	エスキース作業、クロッキー帳、画面構成の模索
第2回	卓上静物②	本作作業開始、四つ切画用紙
第3回	卓上静物③	各形体のパース、光源、形の見直し
第4回	人体研究・人物クロッキー①	モチーフ付、関節曲げたポーズ特化
第5回	卓上静物④	中間講評。修正指示。キャプションの文言を考える
第6回	卓上静物⑤	制作上のコンセプトを口頭にてプレゼン
第7回	卓上静物⑥	完成、作品撮影。講評
第8回	人体研究・人物クロッキー②	手のポーズ特集
第9回	構成デッサン①	エスキース作業、クロッキー帳、画面構成の模索
第10回	構成デッサン②	本作作業開始、四つ切画用紙
第11回	構成デッサン③	各形体のパース、光源、形の見直し
第12回	構成デッサン④	中間講評。修正指示、キャプション文言を考える
第13回	構成デッサン⑤	コンセプトについてプレゼン実施・PC使用、作品画像データ併用
第14回	構成デッサン⑥	完成、作品撮影
第15回	構成デッサン⑦	前期総評、まとめ
第16回	期末試験	期末試験の実施



# 授 業 計 画

No.1

授業科目	3DCG応用Ⅱ		担当教員	柴田 大地	クラス	ビジュアルデザイン科2年(選択)	
期別	前期	履修コマ数	1 コマ/週	授業形態	演習	単位数	1

授業概要	<p>この科目では、CGの技術を利用し、ターゲットを意識した必要とされる表現を学習し、制作していく。具体的には単に作品制作ではなく、新しい技術を利用し、これまでにない新しい領域での表現に挑戦していく。学生CGコンテストの出品を目標に、より実践的な状況の中で自分の作品を実装し、公開していくことを目的とする。</p>						
評価方法	成績評価	下記の評価割合に基づいて「A」「B」「C」「D」の4段階評価を行う。ただし、「D」は不合格とする。					
	評価割合	試験	0 %	課題	50 %	他	50 %
教科書	なし			副教材および参考文献	PDF、データ配布		

	講 義 計 画	実 施 細 目
第1回	オリエンテーション	概要説明、スケジュール作成
第2回	企画1	アイデアと技術面を考慮して企画に落とし込む
第3回	企画2	企画案の初稿を発表
第4回	企画3	決定稿を提出
第5回	A作品-アイデア出し	ギミックを力量を考慮してアイデア出し
第6回	制作作業1	アイデアを形にする
第7回	実装試験1	制作物を書き出して、試験的に実装する
第8回	制作作業2	施策を完成して制作を行う
第9回	実装試験2	制作物を書き出して、試験的に実装した後に仕上げ作業
第10回	実装作業	データの入れ込み、最終テスト
第11回	仕上げ作業	作品の仕上げ、準備
第12回	A作品-総括	前半での制作物のまとめ
第13回	期末に向けて準備1	発表に向けてデータの整理
第14回	期末に向けて準備2	資料の作成、発表練習
第15回	期末課題発表	作品の発表、相互評価。授業の振り返り
第16回	期末試験	期末試験の実施